

子育てま*る*ご*と応援

ふあふあ通信



12月号(師走)

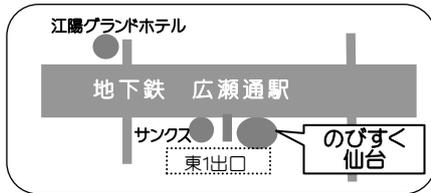
「ふあふあ通信」は、のびすくの情報をはじめ、子育てに役立つ内容を掲載しています。仙台市内の公共施設(児童館、市民センター、子育て支援センター、図書館など)を中心に約360箇所配布しています。

2面: のびすく泉中央、長町南、宮城野
3面: 一緒に子育て

発行: 仙台市子育てふれあいプラザ のびすく仙台

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-10-24
仙台市ガス局ショールーム3階
☎: 022-726-6181 FAX: 022-214-5071

利用対象/主に乳幼児とその家族
開館時間/9:30~17:00 (一時預かり 16:30まで)
休館日/月曜日、祝日の翌日および年末年始
※土、日、祝日は開館
URL: <http://www.nobisuku-sendai.jp/>
携帯サイト: <http://nobisuku-sendai.jp/m/>



※地下鉄
広瀬通駅東1番出口となり

全国子育てひろばセミナーが

開催されました。

11月7日・8日の2日間、仙台市内2か所の会場で全国子育てひろば実践交流セミナー in みやぎが開催されました。震災後初めてとなる東北での開催ということもあり、全国からの温かい支援への感謝を込めて、ありがとうございました。つながり 咲かせよう 未来のひろばのテーマのもと、これからのひろばや子育て支援のあり方を専門家や子育て支援者で話し合い学び合うセミナーとなりました。

1日目(全体会)

最初に、厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課 少子化総合対策室室長 野村知司氏より「地域子育て支援拠点の役割と展望 子ども・子育て支援新制度について」と題し、子育て支援事業計画や今年度から始まった制度の説明をいただきました。

基調講演「被災地に学ぶ 子ども・子育て家庭の現状と求められる支援」では、宮城県子ども総合センター所長の本間博彰



氏が登壇されました。

震災によって心に傷を負った子どもたちがたくさんいます。子どもを育てている大人たちもまた、生活の大変さのために子どもが必要としているケアを十分にできない状況があります。よりよい育児を支えるためには、親を支援することが大切です。親は自分がケアされた体験を持つと、子どもに関わりが持てるようになり、安心感を持てる子どもは活動的になるなど、親支援をすることの重要性を分かりやすくお話してくださいました。

後半のパネルディスカッション「子育て家庭、地域とともに深化する子育てひろば」では、専門家、実践者からの咲かせよう 未来のひろば」では、専門家、実践者からのお話がありました。神奈川県立保健福祉大学名誉教授の山崎美貴子氏からは、子育て家庭を支援するためには、子どもと家庭を支える地域づくりの必要性を、NPO法人子育てひろば全国連絡協議会理事長の奥山千鶴子氏、NPOの代表理事としてのびすく仙台の館長でもある伊藤任佐子氏からは、顔の見える関係性や「つながり」を大切に、取り組んでいかなければならないとの報告がありました。

ラジオFM放送「のびすくネット仙台」

仙台市では、コミュニティFM「ラジオ3」との共催により、ラジオ番組「子育て支援情報局」の「のびすくネット仙台」を放送しています。毎週月曜日、午後4時40分から約7分間、仙台市の子育て支援の情報提供を行います。パーソナリティの青木朋子さんとともに、子育て中の皆さんを応援します。

12月放送予定

- 12月7日 「子どものこころのケア」 子育て支援課
- 12月14・21日 「子育てイベント情報」 のびすく泉中央
- 12月28日 「子育て支援団体情報」 読み語りボランティア「やまがっこう」

コミュニティFM「ラジオ3」

- Q 放送周波数 76.2MHz(ラジオ3)
- Q 放送エリア 仙台全域 ※西部の一部地域を除く

※番組はホームページでも視聴可能(バックナンバーを掲載中)です
仙台市ホームページ [くらしのガイド「子育て」](#)

仙台子育て

検索

最後に、日本福祉大学教授の渡辺頌一郎氏からは、居場所をつくり個別支援・家庭支援・地域支援を一体的に進めることが求められているとお話がありました。

2日目(分科会)

「子どもの豊かな育ちを育むひろばの環境づくり」「産前産後からの切れ目のない家庭支援と地域子育て支援拠点事業」「あらためて地域子育て支援拠点の4つの基本を考える」「子育て家庭を支える拠点における利用者支援事業」「ひろばがになう多様な困難を抱えた子育て家庭への支援」「地域子育て支援拠点における被災家庭への支援」の6つの分科会に分かれ、全国から集まった実践者の事例報告や専門家によるお話など、どの分科会も時間いっぱい議論が展開されました。

のびすく4館も実行委員として参加。今回の学びは、今後ののびすく運営に活かしていきたいと思っています。

